



第121号 〒950-2022 新潟市西区小針4丁目5番18号 真宗仏光寺派 瑞林寺 光輪会 電話 (025) 266-1846 FAX (025) 266-1907 瑞林寺ホームページ http://www.zuirinji.com

寺お講(法中講) 中止のご連絡と コロナ特集 五月二十八日の「寺お講」は 中止とします

月に一度は私の寺へ ころろに仏の灯を 毎月二十八日は 住職と老院の法話です どのたもお参りください しんらんさまの日です 「お正信偈のころろ」 午後1時30分~

老院の探る 瑞林寺の由来と歩み



徳川の時代を迎えて 戦国の世もようやく落ち着き、徳川家康は慶長八年(1603)全国統一の大將軍として江戸幕府を開き、二〇〇年余の徳川の時代を迎えます。

幕末まで村上領でした。徳川幕府の揺籃期、時代の流れは上杉家が去った慶長三年から牧野家着任の元和四年のわずかに二十年間に小針は領主が五人も変わる。

郷屋は興野、荒野、小屋とも戦国末期から江戸初めの開墾地です。長岡藩では郷屋、村上・新発田藩では興野と使われました。



幻の小市の名称 この二つの村は、お互い自治は保ちつつ、共同できることは両村一体となつて生活をいとなんできました。



皇月法話 住職 廣澤 晃隆

新型コロナウイルスより怖いものは、私たち一人一人のもつ偏見や差別です。しかし、それは自己防衛でもあり人間の持つ潜在的な意識でもありま

「あの人が病気になったのは、誰のせい？」 「ウイルスが広まったのは、あいつのせいだ！」 「世界がこうなったのはあいつのせいだ！」

不確かな情報を、うのみにしないで、たちどまって考えよう。恐怖のささやきに耳を貸さない。恐怖は、話を大げさにして、おびえさせる。

親善聖人は「正信偈」の中で「邪見(じゃけん)驕慢(きょうまん)の悪業」と言われます。「邪見」とは邪(よこしま)な見方、つまり偏見と差別心です。そして「驕慢」は驕りと慢心。私はそういう心を持つた悪の衆生であるとの自己分析です。



YouTube ユーチューブにて動画が公開されております。 日本赤十字社コロナ 検索

コロナは問う

老院 廣澤 憲隆

地球の時計の針が止まる この半年、世界中の時計の針が止まりました。時計の針が正しく動き出すのはいつになるのでしょうか。

この正月、寺にお年始めにこられた赤ちゃん連れの若夫婦、誕生を迎えたばかりの頃から、フットの頭をよきったのは、この子が私の年齢八十一歳になったら二〇〇〇年、二十世紀を迎えているが、そのときこの子は、この世はどうなっているか、大丈夫なのか、感じ入った新年、途端にコロナ騒ぎの始まりです。

段として利用してきた近代人の罪と罰がコロナ騒動事件でしょう。ウイルスも生き物、ウイルスの人間への反撃がもしもありません。



緊急事態宣言中、小針小学校の朝の登校時の見守りも無く、任職は寂しい限りです。以前から狭くよく渋滞をしていた小針小学校脇の小針道が、最近広く舗装されました。写真は小針駅方面から小針道を撮った今と昔の写真です。昔の写真は遠く瑞林寺の屋根が見えています。今は歩道橋も撤去されました。緊急事態宣言も解除され、分散登校でありまが元気に登校を始めました。